

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

まつざき

2017
(平成29年)

6

No.637



高通り山はいきんぐつつじまつり (5/14)

「第15回高通り山はいきんぐつつじまつり」が開催され、登山者は山頂で、海岸線の風景や見頃のつつじを楽しみました。

「松崎町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に基づき事業の実施状況

町は、平成28年3月に、将来の人口展望とその実現に向けた「松崎町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。その後、「伝統と現代が調和した暮らしのあるまち 松崎」というテーマに向けて進めている**重点的な施策や事業**の取り組み状況や、今後の取り組みについて紹介します。

Matsuzaki Sports ツーリズム振興事業

県有林では県内初となるマウンテンバイクコースを牛原山に整備し、これまでと異なる客層が見られるようになりました。オリンピックの自転車競技2種目が伊豆半島で開催されることを見越して、インバウンド（外国人旅行者の誘致）にも力を入れていきます。



牛原山に整備されたマウンテンバイクコース

松崎六色温泉活用プロジェクト

商店街の利用されなくなったポケットパークを活用し、お弁当や商店街で購入したものを広げて食べられるように設計された足湯を整備しました。他施策と絡めて、商店街を人が歩くための取組みを進めていきます。また、町にある多様な温泉資源の利用を促進するとともに、観光地としての魅力向上により、交流人口拡大や雇用促進を目指します。



商店街に設置された足湯

なまこ壁保存継承事業

町内の代表的ななまこ壁の建造物について、耐震や補修が必要な箇所等の調査を行いました。この調査を基に、耐震補強や修繕等、必要に応じて実施していきます。

なまこ壁の空き家等を活用した住民交流施設等の整備

住民を中心とした「美の漆喰文化を育むまちづくり協議

会」を立ち上げ、意見交換会を開催し、なまこ壁の建造物活用に関するモデル計画を策定しました。今後、景観計画策定に向けた取組みの中で、より具体的な保存方法や保存地区を検討していきます。



調査を実施した明治商家中瀬邸

交流拠点整備事業

からは、より具体的な町独自の景観形成を図るため、景観計画の策定、景観条例の施行に向けて、勉強会やワークショップを開催していきます。

「ふれあいとーふや。」では、富士ゼロックス㈱と連携し、子育て世代を中心としたワークショップや、地域おこし協力隊と協働する住民主催のイベントが開催されています。今年度から、一般の方が利用できるよう条例、規則を整備しました。住民団体の活動を支援するとともに、外部人材とのネットワーク強化を図り、創業支援の場所づくりを進めていきます。

魅力ある景観保全への取り組み

平成27年度に作成した景観ガイドラインを基に、県と協働し、伊豆半島景観形成行動計画を策定しました。今年度

大学生インターンシップ (実習の受入れ体制の構築)

平成28年度は、静岡大学か

ら1名、東北芸術工科大学から1名のインターンシップを受け入れました。また、静岡大学地域創造学環や常葉大学造形学部のフィールドワークを受け入れ、地域振興への課題提供を行うとともに、課題解決に向けた事業を大学へ発信しています。引き続き、インターンシップ等を積極的に受入れ、相互のスキルアップ（技術・能力等の向上）を目指します。



常葉大学造形学部のフィールドワーク

耕作放棄地の解消対策

（二社）伊豆松崎町桜葉振興会や企業組合桑葉ファーム等の民間団体による耕作放棄地

の解消対策を支援しています。官民一体となって稼ぐ農業を目指しつつ、増加する耕作放棄地の解消に努めます。

新規特産農産物開発

桜葉の有機栽培方法について、農業者と検討を重ね、ハウスを利用した有機栽培を始めています。引き続き、（二社）伊豆松崎町桜葉振興会等と協働し、有機栽培を試験的に実践していき、高付加価値の作物の開発に繋げていきます。



桑畑となった耕作放棄地

松崎高校の魅力化

生徒会によるなまこ壁の清掃活動や美術部による顔出し

看板の作製、サイエンス部をはじめとした里山ファクトリー（牛原山整備計画策定への取り組み）への参加等により、地域との関わりを広げています。郷土愛を育み、より一層地域との関わりを持ち、高校生が地域で活躍する姿を発信することにより魅力の向上を図ります。



松崎高校生徒会によるなまこ壁クリーニング

総合的食育の推進

妊産婦や乳幼児に関する栄養指導や食から健康になるための望ましい食習慣や知識の提供に努めています。行政、家庭、地域がより一体となった食育を推進していきます。

買物弱者支援

県、市町が協働し、南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、通院を含めた生活路線や観光利用の促進のため、南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画を策定しました。買物弱者に関するニーズ調査結果を検証し、より利用しやすい公共交通システムの構築に努めます。

松崎版CCRCの推進 （生涯活躍のまちづくり）

県が進める伊豆半島生涯活躍のまちづくり推進協議会に参加し、CCRC（継続的なケアを提供する高齢者向けコミュニティ）の調査検討を進めています。今年度は、当町がモデル地域となり、クアオルト（温泉保養地）を中核としたアクティブシニア（定年退職後も趣味やさまざまな活動に意欲的な60、70代）も活躍できるまちづくり事業を進めていきます。この事業では、「ひととまちのあり方を健康づくりと賑わいの視点で再構築」し、地域の住民も観光客

も住んでいて楽しい、滞在して楽しいまちづくりを進めます。

避難誘導体制の整備

津波対策ワークショップを開催し、ハード整備と合わせた地域ごとに関連誘導体制の重要性を確認するとともに、防災意識の高揚が図られました。今後も引き続き、防潮堤や避難計画の整備を進めていくとともに、観光客も含めた避難誘導体制の整備を進めていきます。



津波対策ワークショップ

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

新・地域おこし協力隊の紹介 〜新たに3人の隊員に委嘱〜

町では、現在活動している野中・伊藤の2人の地域おこし協力隊に加えて、平成29年度から新たに3人の隊員を任命しました。今後、最長3年間、魅力あふれるまちづくりのために地域協力活動に従事します。

現在、山賀隊員・古屋隊員は木工の業務を中心に、寺田隊員は棚田の業務を中心に活動しています。町内で隊員を見つけた際には、お気軽にお声かけください。

今年度、地域おこし協力隊の隊員になりました山賀健司です。

私は広告代理店で約10年間企画の仕事をしたのち、長年の夢であった家具職人を目指し、岐阜県高山市で家具製作の修行をした後独立し、茨城県で家具工房を開き活動してきました。ここ松崎町には、家具職人としての仕事のご縁で初めて訪れたわけですが、素晴らしい自然とここに住む皆様の温かさに感動し、ここで活動してみたいと思い地域おこし協力隊になることを決めました。

今までの自分の経験を生かし、木工の教室を開いたり町を盛り上げる企画を考えたりして、地域の皆様と一緒に松崎町の魅力をもっと引き出せるような活動をしていきたいと思っています。松崎町のまだまだ知らないこともたくさんあると思いますので、ぜひいろ

いろ教えてください。どうぞよろしく願います。

ふるや かずなり
古屋 一成 隊員



今年度から、地域おこし協力隊の活動を始めました古屋一成と申します。神奈川県横浜市出身です。34歳まで東京で建築模型の製作会社に勤め、その後木工関係の仕事につき、2年後岐阜県高山市に木工の修行に行きました。2012年に独立し木工職人を目指しています。現在、木工職人を

目指したくても木工を習得する場所が減ってきていると聞きます。静岡県は家具の三大産地です。松崎で木工を習得する場所（工房）を作り、木工機械・木工技術を伝える協力をすることを目指し活動していきたいと思っています。

長期的な活動になると思いますが、伊豆半島で木工等ものづくりに関わる職人さん達の協力を得ながら、松崎がものづくりの中心となる場所になることを願います。

新しく松崎町地域おこし協力隊として活動させていただきましたことになりました寺田健悟と申します。今回は、石部の棚田担当ということで棚田を中心に松崎町のお手伝いをさせていただきます。

出身は静岡県富士市、前職は都内で信託銀行員として勤務していました。学生時代に建築学科に所属していたこともあり、建物やまちづくりに興味があります。最近空き家問題に関心があり、松崎町では空き家を利用した場づくりにも挑戦していきたいと考えています。農作業やまちづくりについては全くの素人ですが、いち早く皆様の力になれるよう努めていきます。どうぞよろしく願います。

てらだ けんご
寺田 健悟 隊員



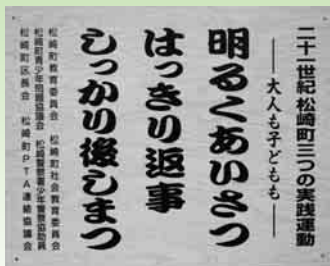
【問合せ】
企画観光課（42） 3964

やまが けんじ
山賀 健司 隊員



二十一世紀松崎町三つの実践運動 ～大人も子どももみんなで行き組む～

明るくあいさつ はっきり返事 しっかり後しまつ



町では、青少年健全育成活動の一環として「あいさつ・返事・後しまつ」を合い言葉に、「二十一世紀松崎町三つの実践運動」を展開しています。この運動は、「学校・家庭・地域が連携し、子どもを育てるため、大人から実践すること」、「大人も子どもも互いに関わり合いを深めること」という2つの視点から提案されたものです。

三つの実践運動に関するアンケートで、小・中学生は「相手の目を見てあいさつ」、「返事は語尾をのばさない」、「使った物はすぐに戻す」等、この運動が定着し、さらに一歩進んだ取り組みをしていることが感じられる回答となりました。

保護者の方や地域住民の方からは、「親が手本となり、一緒に実践する」、「実践が地域に根付いてきている」等の回答がありました。

特に、「あいさつについては、「学生のあいさつに元気をもろう」、「町民だけではなく、観光客にも挨拶をしているのを見かけると、「あいさつをきっかけに、ここやかに接するこ

とができるようになった」との回答があり、地域コミュニティのつながりが確実に広がっていることや、三つの実践運動が各世代に浸透し、形式だけのあいさつではなく、意味のあるあいさつにしようという気持ちが出てきているように感じます。

三つの実践運動は、家庭・学校で繰り返し声をかけていくことはもちろんですが、普段から地域ぐるみであいさつや声かけを行うことが大切です。地域の皆様からあいさつや温かい言葉を受けた子どもたちは、安心感を抱き、自尊感情や自己肯定感が高まる等、健全育成への効果も期待されます。

この運動を実践につなげるためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠です。特に、地域の皆様は、登下校中の児童・生徒への声かけをお願いします。

今後も三つの実践運動を推進し、地域ぐるみで「心地よいあいさつが溢れる町」を目指していきましょう。

【問合せ】

教育委員会（42）3971

松崎町を訪れた方からのお手紙



松崎を訪れたという東京都79歳女性の方から、松崎小学校にお手紙が届きましたので紹介します。

「先日初めて松崎を訪れました。松崎の歴史を初めて知り、夕暮れの海の美しさに感動いたしました。もう一つ印象に残ったのは、出会う小学生達が明るく「こんにちは」「こんにちは」と声をかけてくださることでした。

先生達のご指導のたまものでございましょう。これから礼儀をわきまえた青少年に育っていくことと思いますが、松崎というところの子達の姿を思い出します。

余計なこととは思いますが、私共の感想をお伝えたく、一筆したためました。」(一部抜粋)

児童・生徒・保護者・地域の方の意見から



～平成29年4月に実施したアンケート約500枚から抜粋～

あいさつについて

- ・自分から挨拶をする（小学生）
- ・家族同士でも挨拶を大切にしている（保護者）

返事について

- ・「うん」ではなく「はい」と言う（中学生）
- ・はっきりと返事をするよう指導している（保護者）

後しまつについて

- ・後しまつが出来なくなってきたので気を付ける（60代）
- ・食器などは自分で片づけるよう教えている（保護者）

松崎高校広報く西豆と共にく (連携型中高一貫教育)

松高の進路指導について

「ICT教材の導入」

一人ひとりの進路希望に寄り添い、最後まで丁寧に進路指導を行うとともに多くの生徒が今より1つ上のレベルを積極的に目指す指導をします。また、県から配布される40台のタブレットを活用するための環境整備を進めるとともに、スマホ・タブレットでの個別学習等を目的としたICT教材「Classi」を導入し、個に応じた指導をさらに強化



していきます。

現在、松崎高校では、タブレット6台、電子黒板1台を所有しています。

特進クラスの進路実績

(平成29年3月卒業生のもの)

《大学》

(国公立大学)

京都工芸繊維大学、秋田大学

(私立大学)

東洋大学、東京農業大学、鎌倉女子大学、神奈川大学、大東文化大学、杏林大学、日本医療科学大学、愛知学院大学、名古屋外国語大学、大谷大学、岐阜女子大学、昭和女子大学、帝京科学大学、相模女子大学、愛知学泉大学、東京工科大学、淑徳大学等

《専修学校・専門学校》

トヨタ東京自動車大学校、聖マリアンナ医科大学看護専門学校等

《就職(公務員を含む)》

静岡県警察、西伊豆町役場、松崎町役場、マックスバリュ東海株

矢野あおい教諭

文部科学大臣賞受賞

矢野教諭は、3月初旬に、文部科学大臣から優秀教員として表彰されました。静岡県内で6人受賞したうちの1人が矢野教諭です。



【問合せ】

松崎高校 (42) 0131

人権擁護委員に斎藤さん

4月1日付けで斎藤公志郎さん(道部)が、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、人権の救済のために活動しているボランティアです。地域の皆さんの相談を受けて問題解決のお手伝いをしたり、人権についての啓発活動を行ったりしています。

町内には、既に活躍されている眞野集さん(南郷)、鈴木政子さん(吉田)とあわせ、3人の人権擁護委員がいます。



斎藤 公志郎 さん

行政相談委員に佐藤さん

4月1日付けで佐藤健二さん(小杉原)が総務大臣から行政相談委員に委嘱されました。

行政相談委員は、民間のボランティアです。地域の皆さんから行政に対する要望等を聴き、アドバイスをしたり、そこで明らかになった問題に関係する行政機関へ通知したりします。

町内には、既に活躍されている山本眞一郎さん(峰)とあわせ、2人の行政相談委員がいます。



佐藤 健二 さん

人権・行政合同相談

町では毎月1回、午前10時から午後3時まで、合同相談を行っています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

【問合せ】 窓口税務課 (42) 3968

みんなで防ごう土砂災害 【6月は土砂災害防止月間】

近年、集中豪雨等の増加により、多くの土砂災害が発生しています。特に6月から10月は、梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨等、土砂災害が発生しやすい時期ですので、6月が「土砂災害防止月間」と定められ、土砂災害に関する防災知識の普及等が行われています。

土砂災害が発生すると、一瞬にして尊い命や財産が奪われ、甚大な被害をもたらします。土砂災害から身を守るために、日頃から防災知識を高めておきましょう。



地域の危険度を把握する

土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域等は、静岡県が指定しています。ハザードマップ等を参照して、お住まいの場所が土砂災害警戒区域等に当たるかどうか、事前に確認しておきましょう。

雨が降り出したら情報収集

大雨による土砂災害発生危険度が高まったときには、「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

大雨のときには早めの避難

崖下や溪流沿い等に住んでいる方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表されたときには、早めに避難しましょう。

夜間に大雨が予想されたとき

夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。町も早めに避難所を開設しますので、情報に注意して早めの避難を心がけましょう。

避難が難しいときは

夜間や激しい雨が降っているときに避難することは、かえって危険な場合もあります。避難が難しいと判断されたときは、次善の策として、屋内避難をしましょう。

【水平避難】

山側より反対側の部屋に移動

【垂直避難】

1階よりも2階、3階へ移動

土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、県と静岡地方気象台が共同で発表する情報です。町内では年に一度あるかないかの情報で、夜中でも同報無線で自動放送されますので、この情報が発令されたときは、町からの避難勧告等の呼びかけに従う、あるいは自主避難をする等の「早目の避難」を心がけてください。

【問合せ】

総務課（42） 3963

その思い 投票しなきゃ 伝わらない。

6月25日（日）は静岡県知事選挙の投票日です。

投票日と投票時間	6月25日（日） 午前7時～午後7時 ※門野と三浦地区は、午前7時から午後6時までとなりますので、ご注意ください。
投票できる人	平成11年6月26日までに生まれた方 平成29年3月7日までに住民となった方 ※詳しくは、選挙管理委員会へお問い合わせください。
投票する場所	投票所入場券に該当する投票所が記載されていますので、お確かめの上、投票にお出かけください。

期日前投票制度

投票日に仕事や旅行、通院等で投票所に行くことができない場合は、期日前投票ができますので、ご利用ください。（詳しくは、投票所入場券裏面をご覧ください。）

【問合せ】 選挙管理委員会（TEL 42-1111）

My Town Topics ～ まちのできごと ～



戦没者遺族相談員の委託

4月18日、戦没者遺族の援護のため、相談・指導・助言等を行う戦没者相談員として、堀谷八千代さん（門野）が静岡県知事から委託されました。任期は、平成31年3月31日までの2年間です。



外部海岸清掃活動

4月22日、「松崎町まちづくりやろうじゃ協議会」をはじめとした有志の方々が、外部海岸の清掃活動を行いました。波で打ち上げられた多くのゴミが回収され、5月の連休を前に海岸が綺麗になりました。



第32回岩科重文まつり

4月23日、「第32回岩科重文まつり」が開催されました。松崎幼稚園の開園に伴い、園児も大勢出演しました。また、旧岩科小学校閉校10年を記念した「タイムカプセルの開封式」も行われました。



西豆を体験しよう

5月12日、松崎中学校・西伊豆中学校・賀茂中学校の生徒たちは、西豆の良さを体験できる27講座に分かれ、「西豆を体験しよう」の授業を行いました。写真は、古道整備活動の様子です。

現在の国道135号（東海岸）からは伊豆七島や朝日を、国道136号（西海岸）からは駿河湾越しの富士山や夕日を見ることができ、走るだけで観光ができる道路です。

川端康成の「伊豆序説」には、「伊豆半島全体が一つの大きな公園である。一つの大きい遊歩場である。つまり伊豆半島のいたるところに自然の恵みがあり、美しさの変化がある」と言っています。伊豆の道路は、周遊してこそ価値があると思っています。

東京オリンピックの自転車競技会場が伊豆市に決定した影響からか、近頃、自転車伊豆地域を周遊している方を多く見かけるようになりました。

道路の整備を

町長室からこんにちは ㊿

松崎町長
齋藤 文彦

しかしながら、道路の幅も狭く、歩道も無いため、自転車と自動車とが並走していると互いに危機感を感じてしまい風景を楽しむことができません。簡単に受け入れていただくものはありませんが、伊豆地域の市町が団結し、国や県へ整備の必要性を訴え、自動車でも観光した方が今度では自転車でも来てみたいなどと思える道路にすることによって、町が誇る景観を最大限に活用できます。また、整備された道路をきっかけに伊豆の各市町が連携し、誘客に取り組みむことで伊豆のブランド化も図れると考えています。

日々の波を乗り越え全国に船を届ける

株岡村造船所

キラリ、輝き人 No.30

株岡村造船所は、1947年に創業し、木造の小型漁船や旅客船、カッター艇等、これまで約700隻の船舶を建造してきました。全国各地の大学や水産高校等への「カッター艇」の納入と、「奈良平城京遷都1300年祭」での実物大遣唐使船の建造をはじめとした船

舶工芸の分野で日本一を誇ります。

社長の岡村彰人さんに造船業の現状について話を聞くと、「小型船業界は非常に厳しいと思います。現場を遊ばせることのないようにと思っ



小樽運河に浮かぶボートを建造している様子



岡村一郎工場長が手がけた船舶模型

Profile

かぶしきがいしゃ
おかむらぞうせんじよ

1947年に創業し、1975年から法人として設立しました。4代目社長岡村彰人氏を筆頭に、「小粒でもキラリと光るOM（オカムラマリンクラフト）」を合言葉に業務に励んでいます。

大切に、地道にコツコツと船を造ってきたからではないでしょうか。この仕事のやりがいは、0から物をつくり、完成したときに達成感があります。海に船を浮かべて、お客様に喜んでもらったときがとて嬉しいです。現在は、北海道の小樽運河に浮かぶ長さ約10mのボートを建造しています。お客様から欲しい船の概略を聞き、造る船舶が確認できたなら、工場従業員全員で全行程の作業を行います。この小樽のボートは、5・6人で作業し約2ヶ月で完成します。6月中旬には完成しますので、7月頃には小樽で乗ることができると思います」と話してくれました。

また、今後については、「カッター艇や船舶工芸以外の新しい『マリンクラフトの創造』に取り組んでいきたいです。そのために、新しい人材を募集していますので、『ものづくり』に興味がある方は、ぜひ連絡をいただきたいと思います」と話してくれました。

足湯の紹介

町内には、常設の足湯が3カ所あります。

1つ目は、「伊豆文邸足湯」です。伊豆文サポートの皆さんが管理してくれていて、季節の花や本も置かれています。

2つ目は、「中瀬の足湯」です。ときわ大橋通り側の中瀬邸の敷地内にあります。利用時間は、9時〜16時です。狭いので、ほぼ貸切でご利用いただけます。

3つ目は、「ポケットパーク足湯」で、今年4月に株梅月園本店前に設置しました。テールがあり、3つの中では一番広い造りになっています。



伊豆文邸足湯



ポケットパーク足湯



中瀬の足湯

【問合せ】

企画観光課

(42) 3964

町の人口と世帯

(平成29年4月30日現在)
()内は前月比

総人口	6,916人	(-5人)
男	3,289人	(±0人)
女	3,627人	(-5人)
世帯数	3,003戸	(+5戸)
転入	29人	転出 21人
出生	1人	死亡 14人

(4月届出分) 戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
江奈3	ゆめ紗	女	山本光洋

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
八木山	佐藤キヨ子	72	千 秋
道 部	山本友子	87	桂
道 部	渡邊 汪	87	美佐子
江奈3	石田茂年	89	明 彦
伏 倉	関 直市郎	94	環
中 区	松本龍夫	78	初 枝
山 口	佐藤さつき	88	圭
北 区	望月正枝	85	輝 一
石 部	高橋 實雄	90	忠 一
伏 倉	小林 一男	91	琢 磨
江奈2	山田英治	67	ワシントン恭子
伏 倉	藤池とくの	90	片桐和保

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成29年4月発生分

()内は前年同月比

人身事故	2件	(+2)
物損事故	8件	(±0)
死 者	0人	(±0)
傷 者	2人	(+2)

【問合せ】

健康福祉課(42) 3966
※このコーナーは偶数月に掲載します。



菊池 めいちゃん
(雲見)



高橋 凌久くん
(伏倉)



佐藤 翠ちゃん
(金沢)

ピカピカ
キッズ



3歳児健診で「虫歯」がなかった
お子さんを紹介します。

暮らしなんでも相談

消費生活、家庭・労働・年金問題、法律関係、多重債務等、暮らしの中での悩み事相談を受け付けています。

悩み事を一緒に考え、専門的なアドバイスをしてくれる機関を紹介いたします。

※相談・取次ぎは原則無料ですが、専門家に相談する場合は別途料金がかかる場合があります。

【相談受付ダイヤル】

ライフサポートセンター東部事務所

055(922)3715 (受付時間：平日9:00～17:00)



西風の強き朝のチャイムにて半音さがるやうに聞こえる

杉山安紀子

庭先に梅の花咲きははじめも陽気のせるか花は不揃ひ

土屋君子

臘梅の甘き香りの流れきてひと枝さりぬ春まつころろに

細田光代

この先をいつまでわたしでゐるのだろう岬にぶつかりくだけ散る波

岡村芳子

松崎文芸

— 短 歌 —